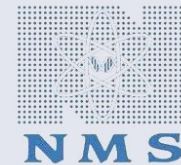


2025年3月期決算説明会

野村マイクロ・サイエンス株式会社

2025年5月22日



chapter **01**

2025年3月期 決算概況

chapter **02**

2026年3月期業績見通し

chapter **03**

中期経営計画概要と進捗

chapter **04**

参考資料

A decorative graphic of a water splash with bubbles, located on the left side of the slide.

chapter
01

2025年3月期 決算概況

業績動向

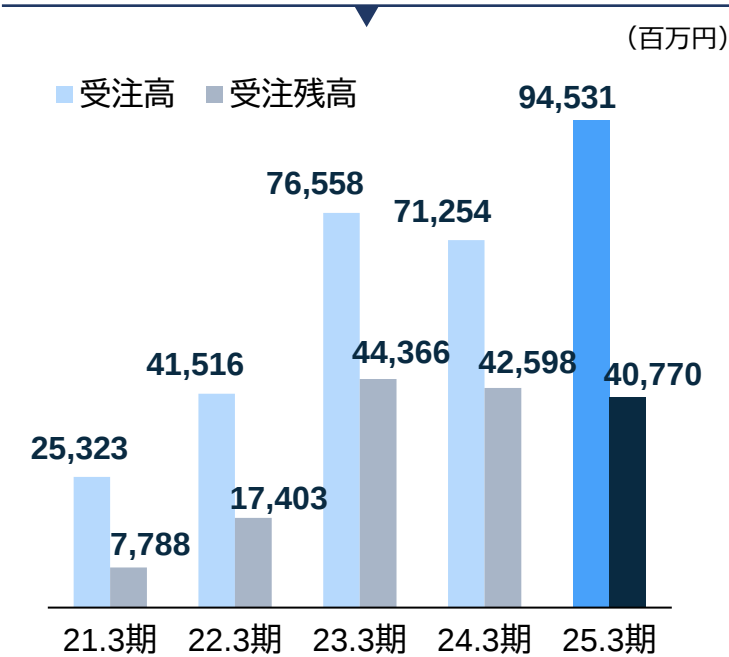
■ 大型水処理装置等の受注により受注高は過去最高を更新

米国、韓国、その他の地域を中心に大型水処理装置案件を受注
メンテナンス受注も過去最高を更新

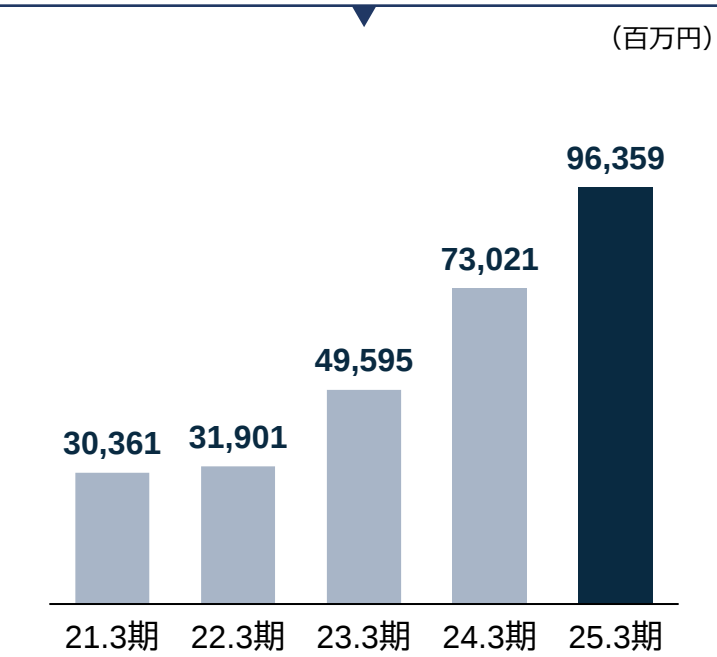
■ 売上・利益とも過去最高を更新

各地域の水処理装置の工事が順調に進捗するとともに大型水処理装置案件の
売上が寄与

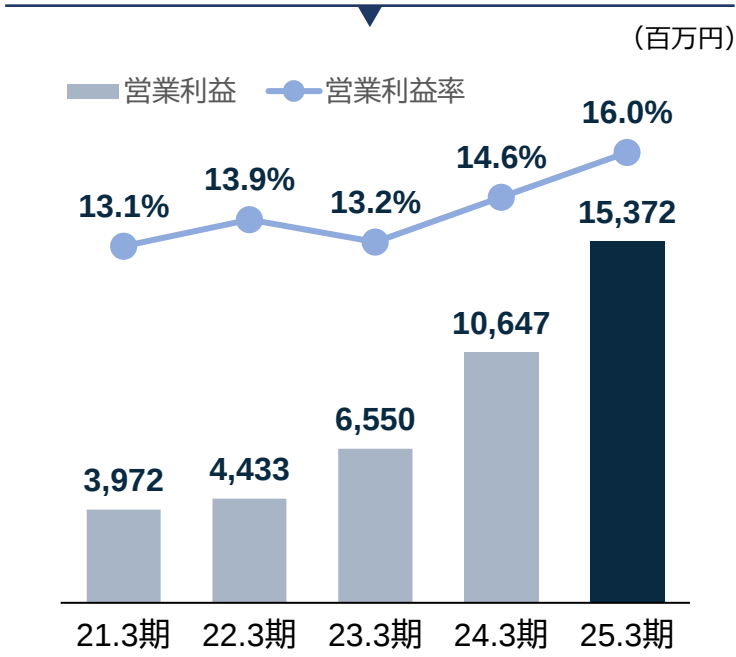
受注高・受注残高



売上高



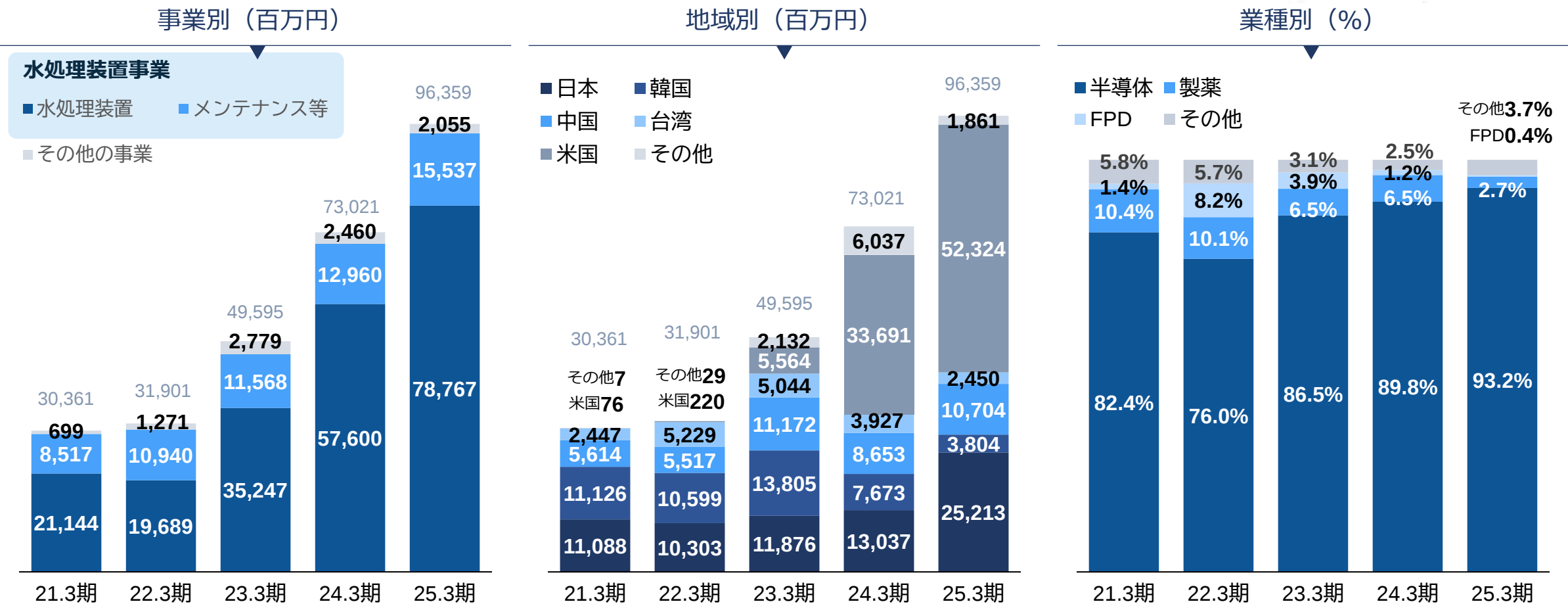
営業利益



前期実績、期初計画を上回り、売上・利益とも過去最高を更新

(百万円)								
	24.3期	25.3期						
	実績	実績	増減額	増減率	期初計画	達成率	修正計画 (3Q)	達成率
売上高	73,021	96,359	23,338	32.0%	88,000	109.5%	96,000	100.4%
売上総利益	15,407	21,110	5,703	37.0%	18,000	117.3%	-	-
売上総利益率	21.1%	21.9%	-	-	20.5%	-	-	-
営業利益	10,647	15,372	4,724	44.4%	12,000	128.1%	14,300	107.5%
営業利益率	14.6%	16.0%	-	-	13.6%	-	14.9%	-
経常利益	10,819	13,399	2,850	23.9%	11,800	113.6%	12,600	106.3%
経常利益率	14.8%	13.9%	-	-	13.4%	-	13.1%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,978	10,199	2,221	27.8%	8,650	117.9%	9,650	105.7%
当期利益率	10.9%	10.6%	-	-	9.8%	-	10.1%	-
当期受注高	71,254	94,531	23,277	32.7%	95,401	99.1%	85,401	110.7%
期末受注残高	42,598	40,770	△1,828	△4.3%	50,000	81.5%	40,000	101.9%

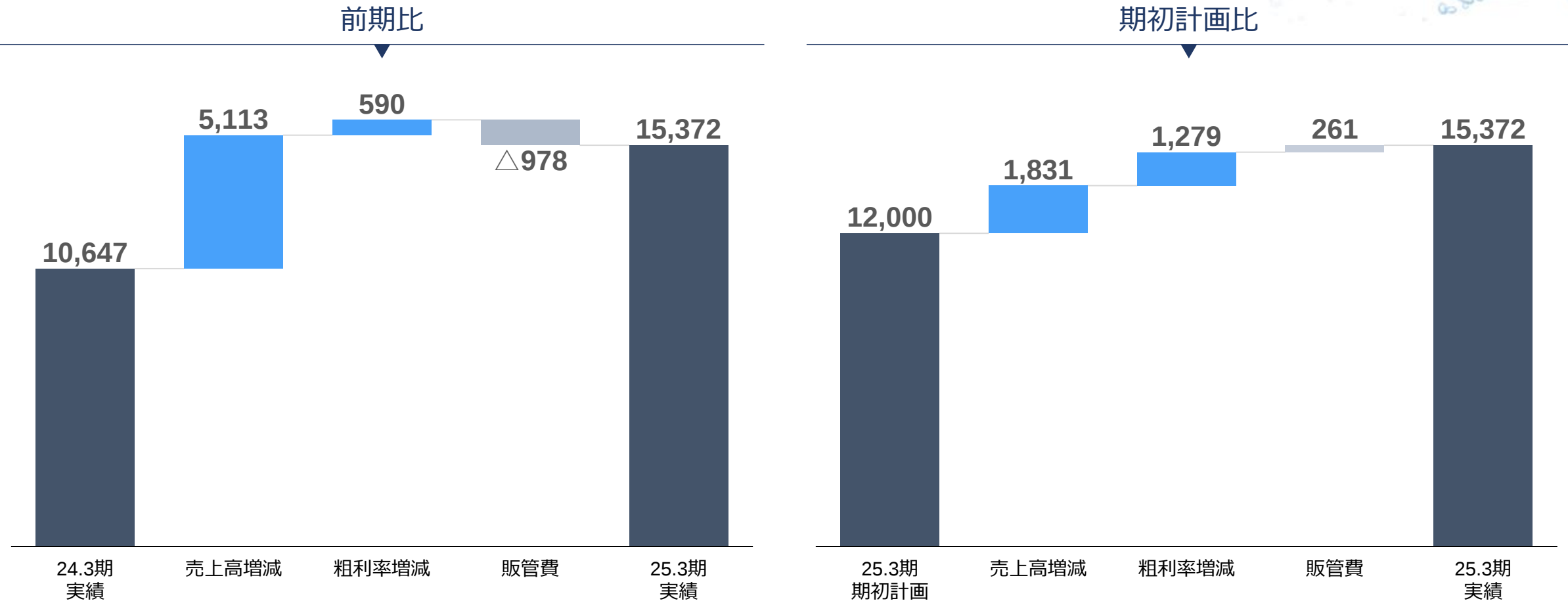
米国の大型水処理装置の売上が寄与するとともに、日本をはじめ各地域の水処理装置案件の工事が順調に進捗
大型水処理装置の納入実績に伴い、メンテナンス・消耗品の販売が順調に成長
引き続き半導体向けの売上が高水準で推移



営業利益増減分析（前期比・期初計画比）



前期比：米国および日本の大型水処理装置の増収効果
期初計画比：大型水処理装置の増収効果とともに、各地域の水処理装置の工事が順調に進捗し利益率が改善

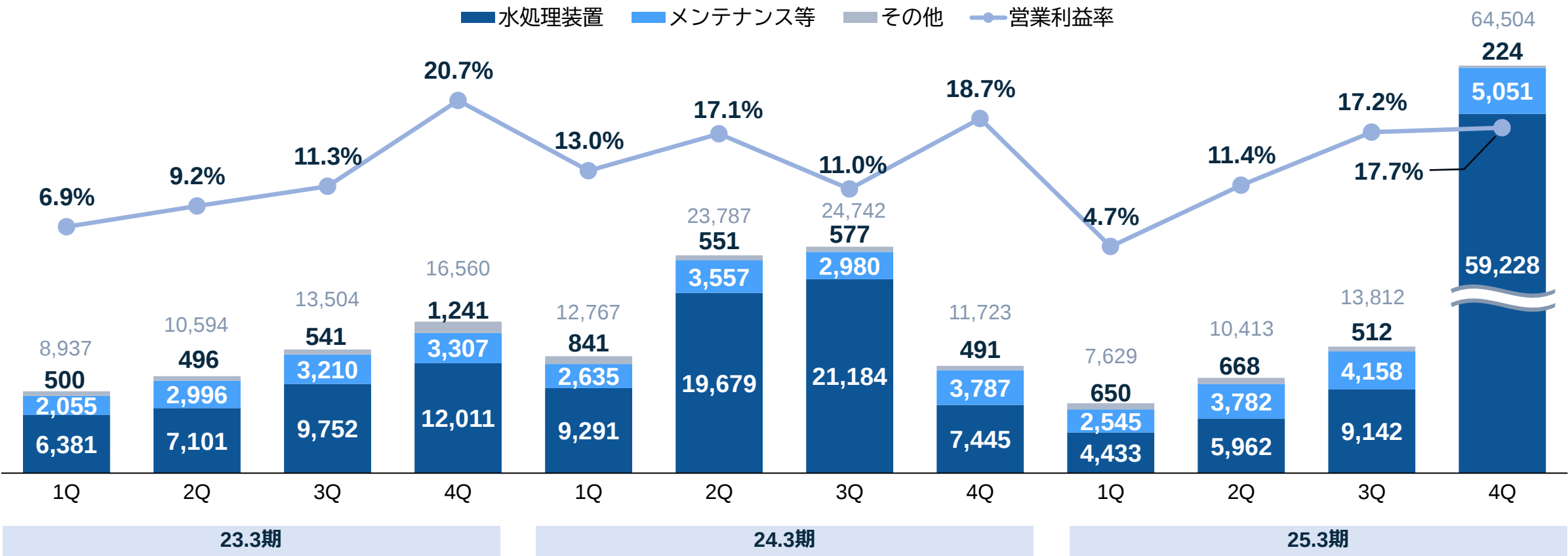


事業別売上高の四半期推移



25.3期は、4Qに米国で大型水处理装置案件を計上
増収効果により営業利益率が上昇

事業別売上高と営業利益率の推移（百万円、％）

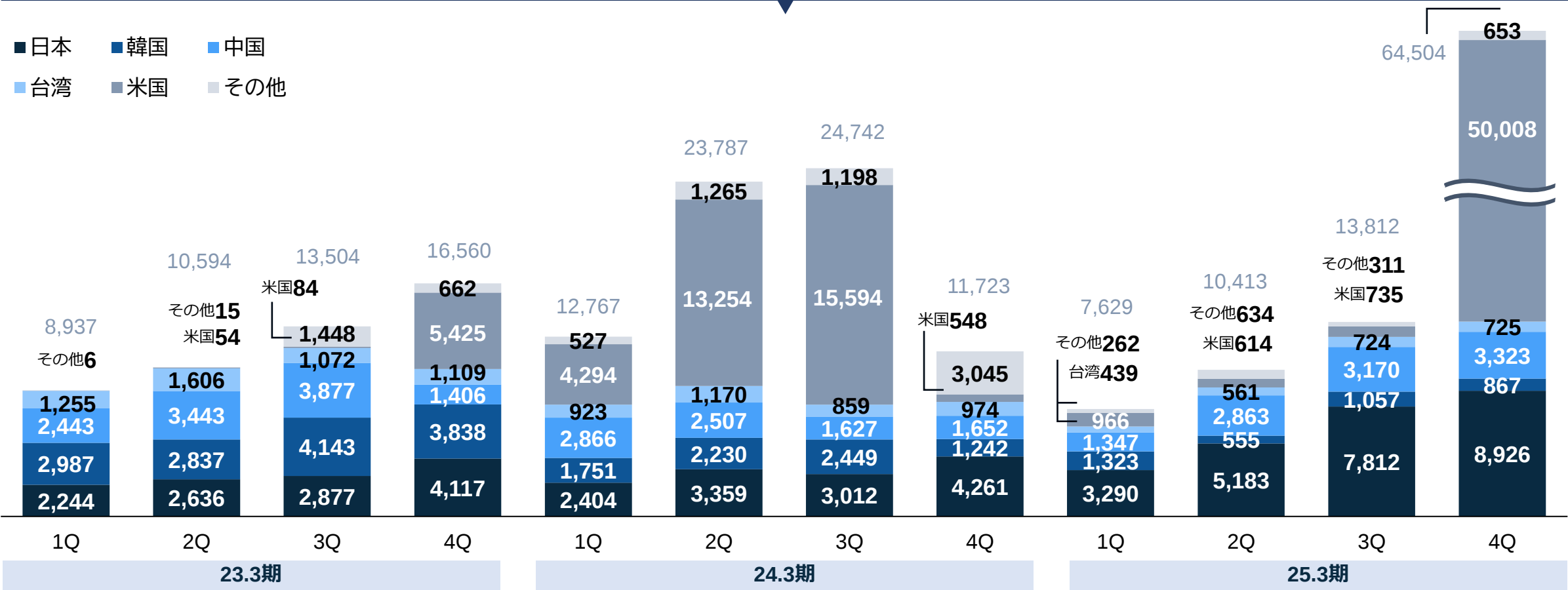


地域別売上高の四半期推移



25.3期は、4Qに米国で大型水処理装置案件を計上
日本は受注済み水処理装置案件の工事が順調に進捗し、高水準で推移

地域別の売上高の推移（百万円、％）

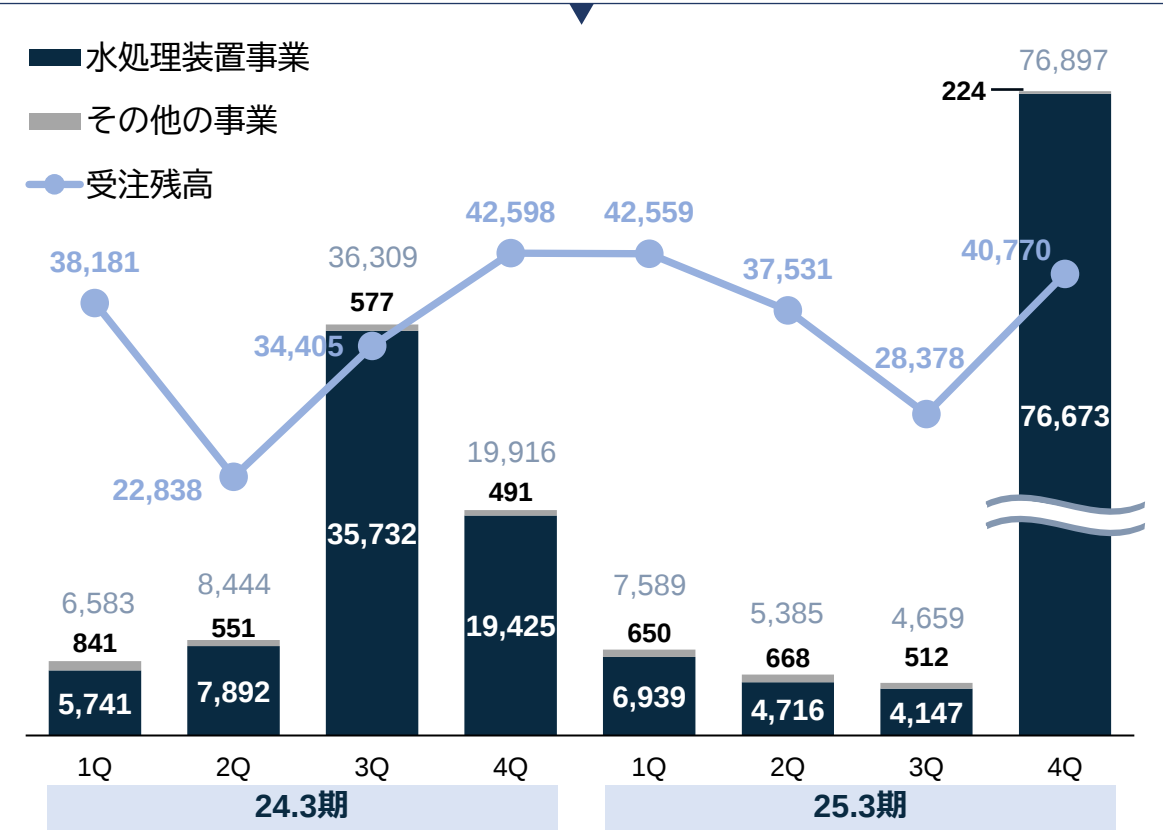


受注高・受注残高（四半期）

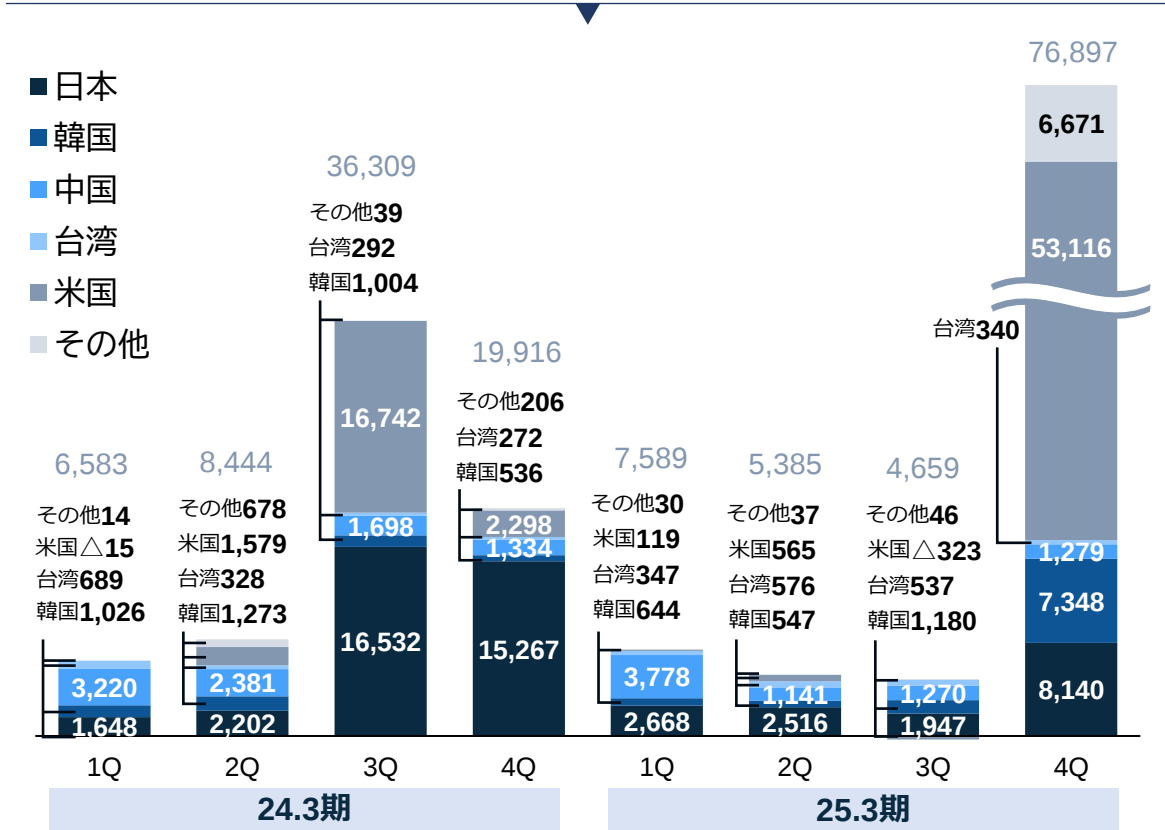


大型案件を含む水処理装置の引き合いは堅調に推移
25.3期は、4Qに新たな地域（インドTATA案件）及び韓国で新規顧客の受注を計上

事業別受注高・受注残高（百万円）



地域別受注高（百万円）



貸借対照表

(百万円)

	24.3期	25.3期	差額	備考
流動資産	65,504	108,990		
現預金	12,141	17,330	5,188	
売上債権	9,188	13,679	4,491	
契約資産	29,412	71,193	41,781	米国等での大型水処理装置の収益認識による
棚卸資産	12,615	3,721	△8,893	米国等での大型水処理装置の収益認識による
その他流動資産	2,573	3,470	896	
貸倒引当金	△427	△405	21	
固定資産	5,098	7,792	2,694	
有形固定資産	3,058	4,957	1,899	
無形固定資産	104	119	14	
投資その他資産	1,934	2,715	780	
資産合計	70,602	116,783	46,180	

	24.3期	25.3期	差額	備考
流動負債	41,280	78,894	37,613	
支払手形・買掛金	9,230	9,251	20	
短期借入金	22,380	52,158	29,777	米国での大型水処理装置案件の運転資金調達
契約負債	5,578	9,330	3,752	
その他流動負債	4,091	8,155	4,063	
固定負債	397	874	476	
負債合計	41,678	79,769	38,090	
純資産	28,924	37,013	8,089	
負債純資産合計	70,602	116,783	46,180	

キャッシュフロー計算書

(百万円)

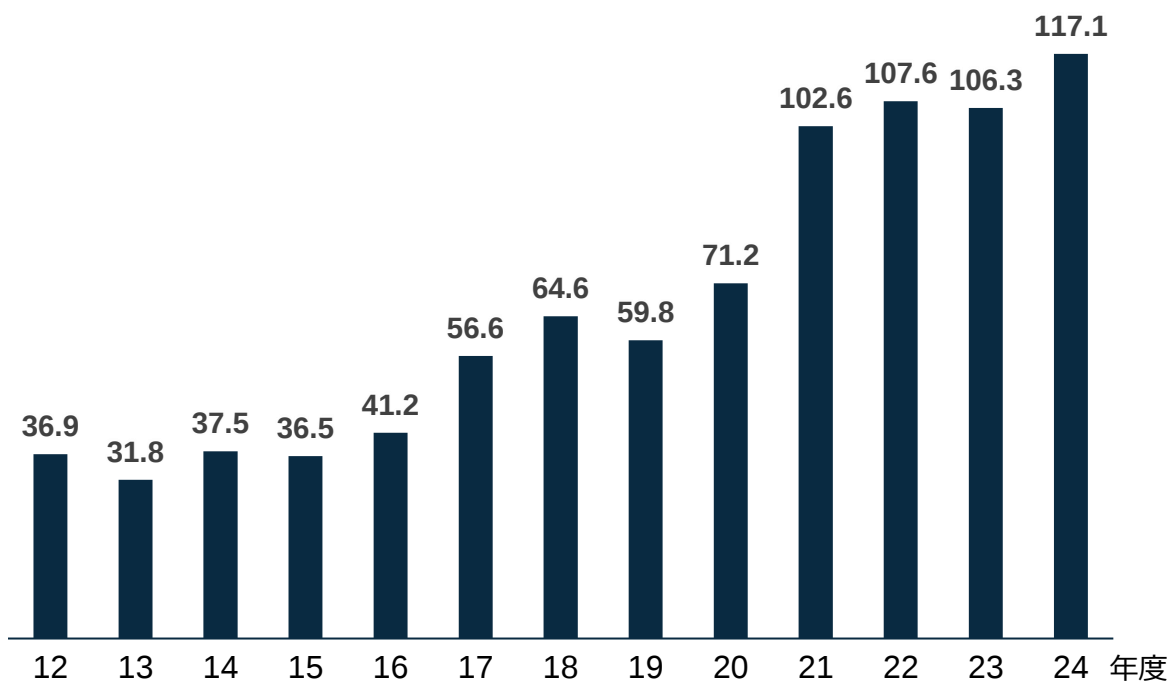
	24.3期	25.3期	差額	備考
営業活動によるキャッシュフロー	△18,662	△18,729	△66	税金等調整前当期純利益 13,399 売上債権の増加額 △46,946 棚卸資産の減少額 8,216
投資活動によるキャッシュフロー	386	△4,215	△4,602	有形固定資産の取得による支出 △3,577
財務活動によるキャッシュフロー	17,451	27,178	9,726	短期借入による収入 29,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	△532	445	978	
現金及び現金同等物の増加額	△1,356	4,679	6,036	
現金及び現金同等物期末残高	11,859	16,539	4,679	
フリーキャッシュフロー	△18,275	△22,944	△4,668	

chapter
02

2026年3月期業績見通し

半導体製造装置の売上高の推移（十億ドル）

■ 半導体製造装置の売上高



出所：SEMI、IC Insights、Semiconductor Intelligenceを基にUzabase作成

経営環境等

■ 世界経済

- ・米国の相互関税を起因とした通商問題や為替変動、地政学リスクの高まり等景気後退に対する懸念は払拭されておらず、世界経済の先行きは不透明な状況が続くものと予測

■ 半導体市況

- ・ハイパフォーマンスコンピューティングやデータセンター拡大を支えるメモリ分野に加え、AIインテグレーション拡大によるエッジデバイスの増加等を背景に、今後も成長が期待
- ・米国の関税引き上げ、米中貿易摩擦の動向は引き続き注視が必要
- ・経済安全保障の観点から各地域（新興国：東南アジア、インド含む）にて自国での半導体製造拠点整備を強化

■ 製薬市況

- ・新薬やバイオ製剤等を中心とした内需製薬関連の継続的な投資が見込まれる
- ・日本政府の医薬品関連サプライチェーン強化に向けた投資促進事業費補助金により加速

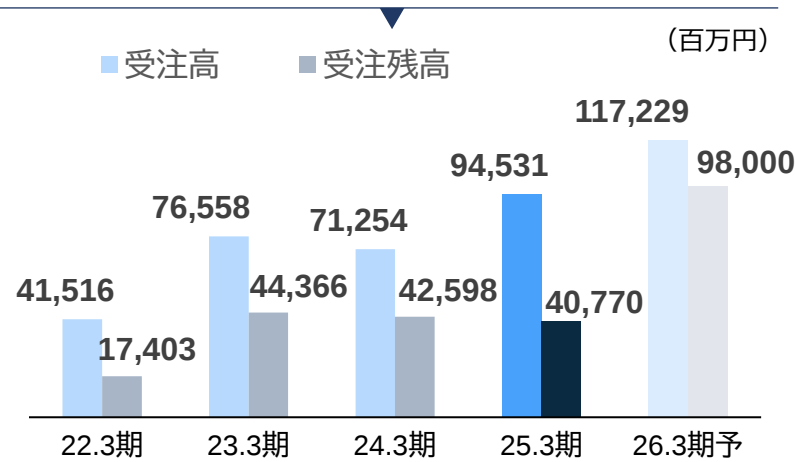
2026年3月期決算の見通し



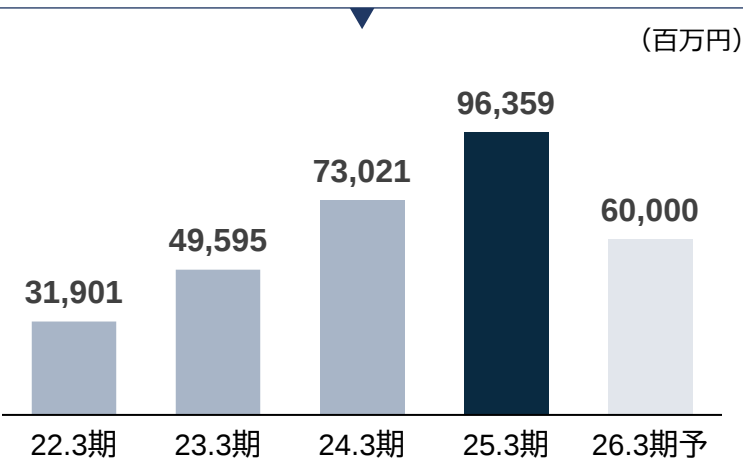
(百万円)

	25.3期	26.3期予					
	実績	通期	増減額	伸び率	上期	伸び率	下期
売上高	96,359	60,000	△36,359	△37.7%	24,500	35.8%	35,500
売上総利益	21,110	12,065	△9,045	△42.8%	5,030	16.4%	7,035
売上総利益率	21.9%	20.1%	-	-	20.5%	-	19.8%
営業利益	15,372	6,200	△9,172	△59.7%	2,115	36.2%	4,085
営業利益率	16.0%	10.3%	-	-	8.6%	-	11.5%
経常利益	13,399	5,184	△8,215	△61.3%	1,114	-	4,070
経常利益率	13.9%	8.6%	-	-	4.5%	-	11.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,199	3,837	△6,362	△62.4%	825	-	3,012
当期利益率	10.6%	6.4%	-	-	3.4%	-	8.5%
EPS	270.75円	101.33円	△169.42円	△62.6%	21.78円	-	79.54円

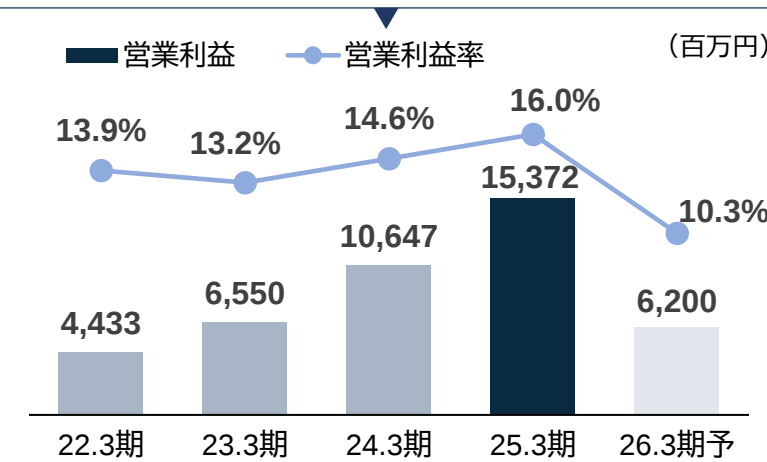
受注高・受注残高



売上高



営業利益

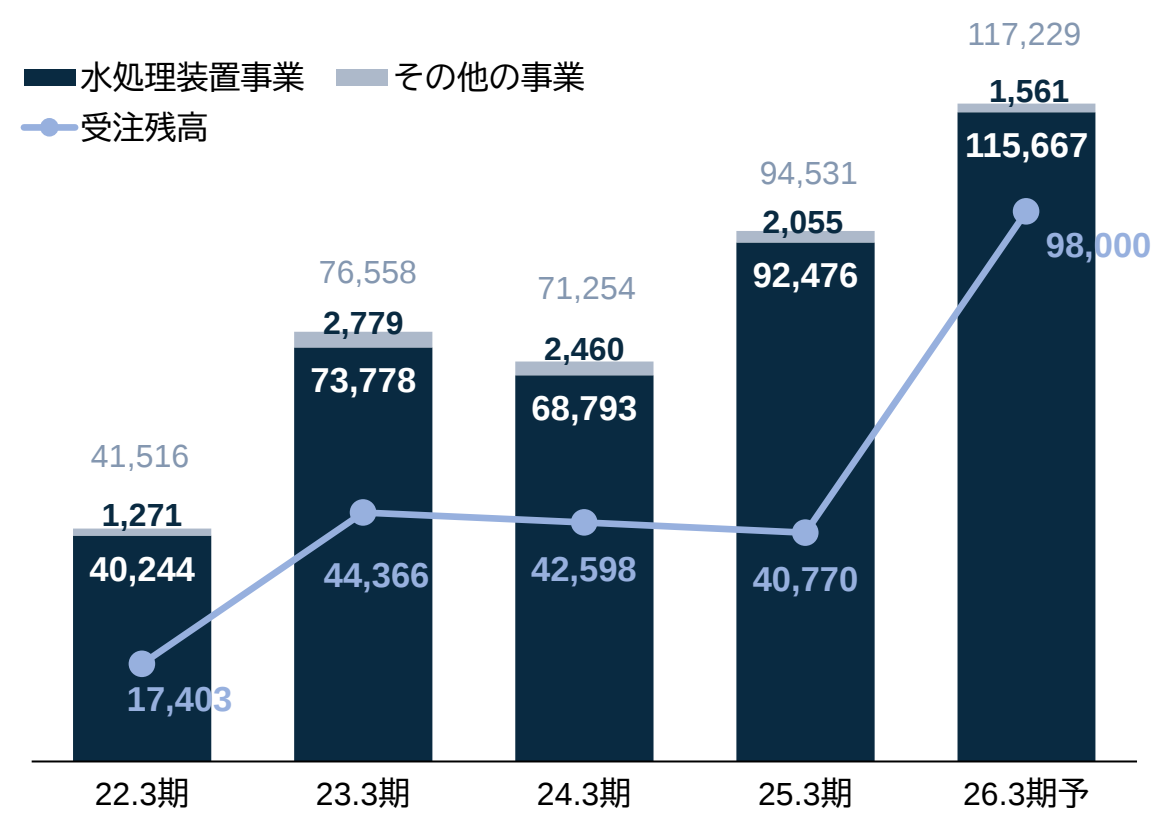


受注高・受注残高

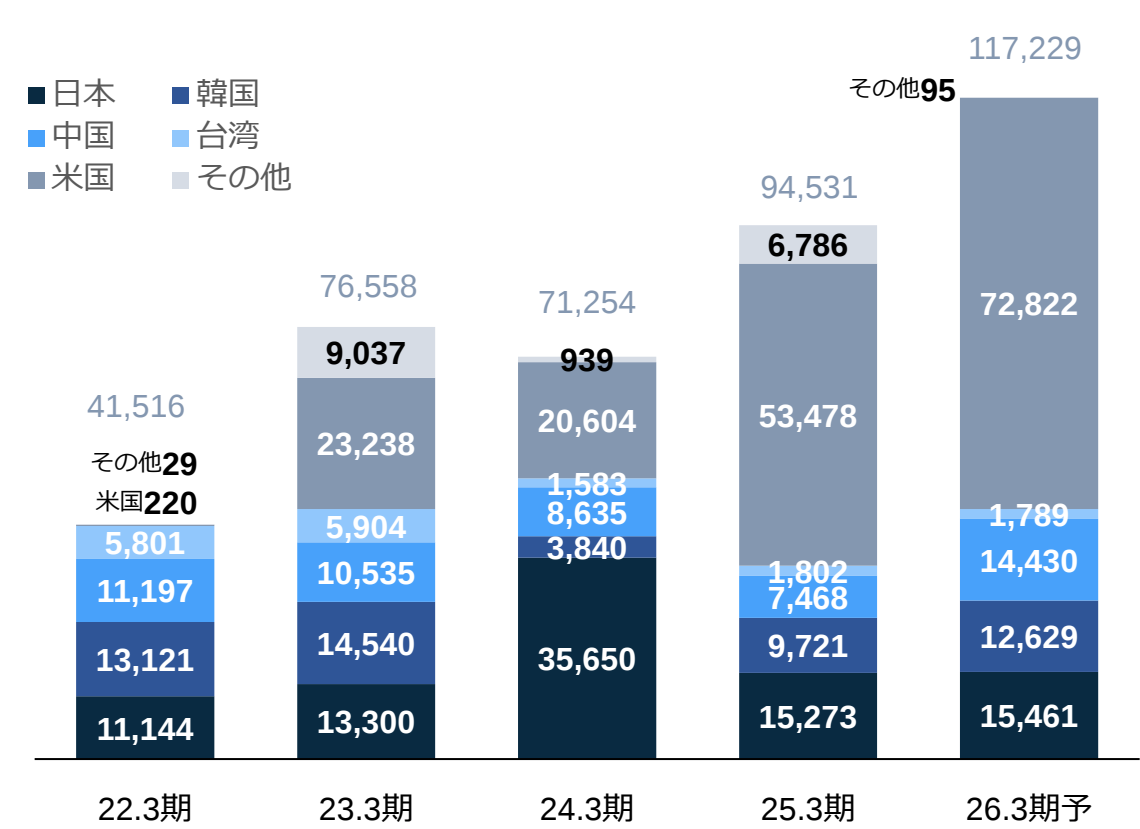


前期に引き続き、半導体の設備投資は旺盛
韓国、米国で大型水処理装置の受注を計画

事業別受注高・受注残高（百万円）



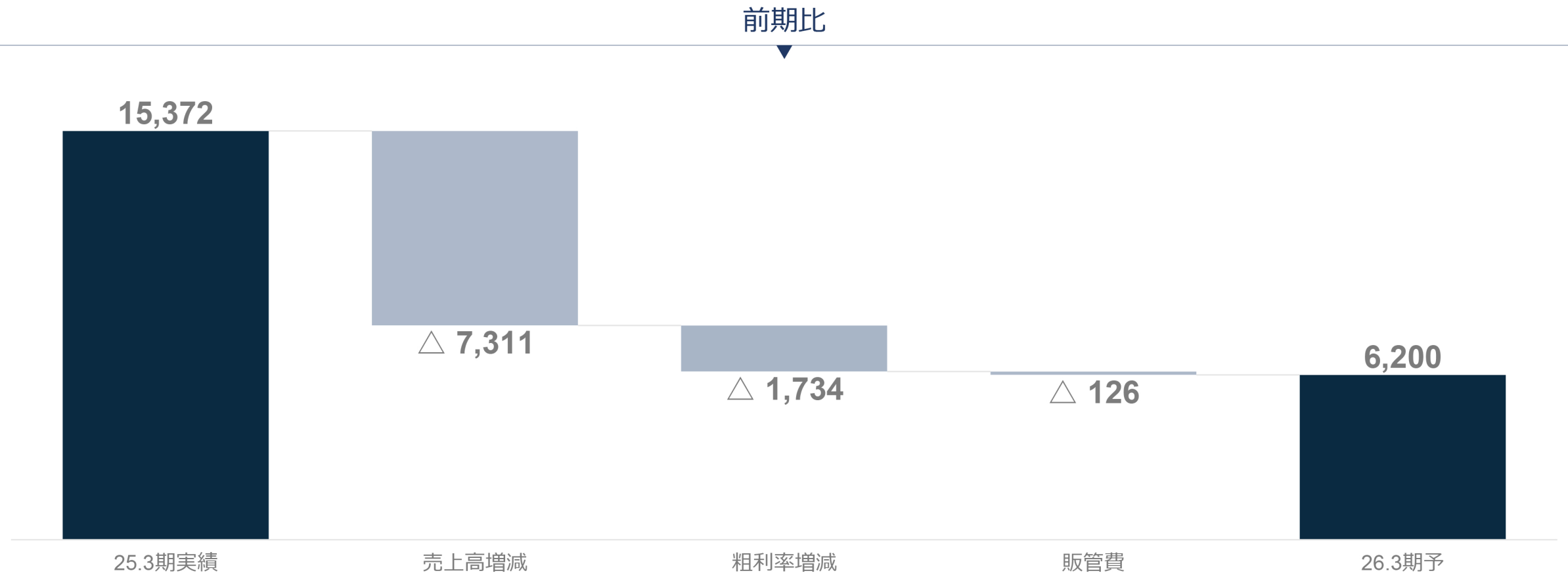
地域別受注高（百万円）



営業利益増減分析（前期比）

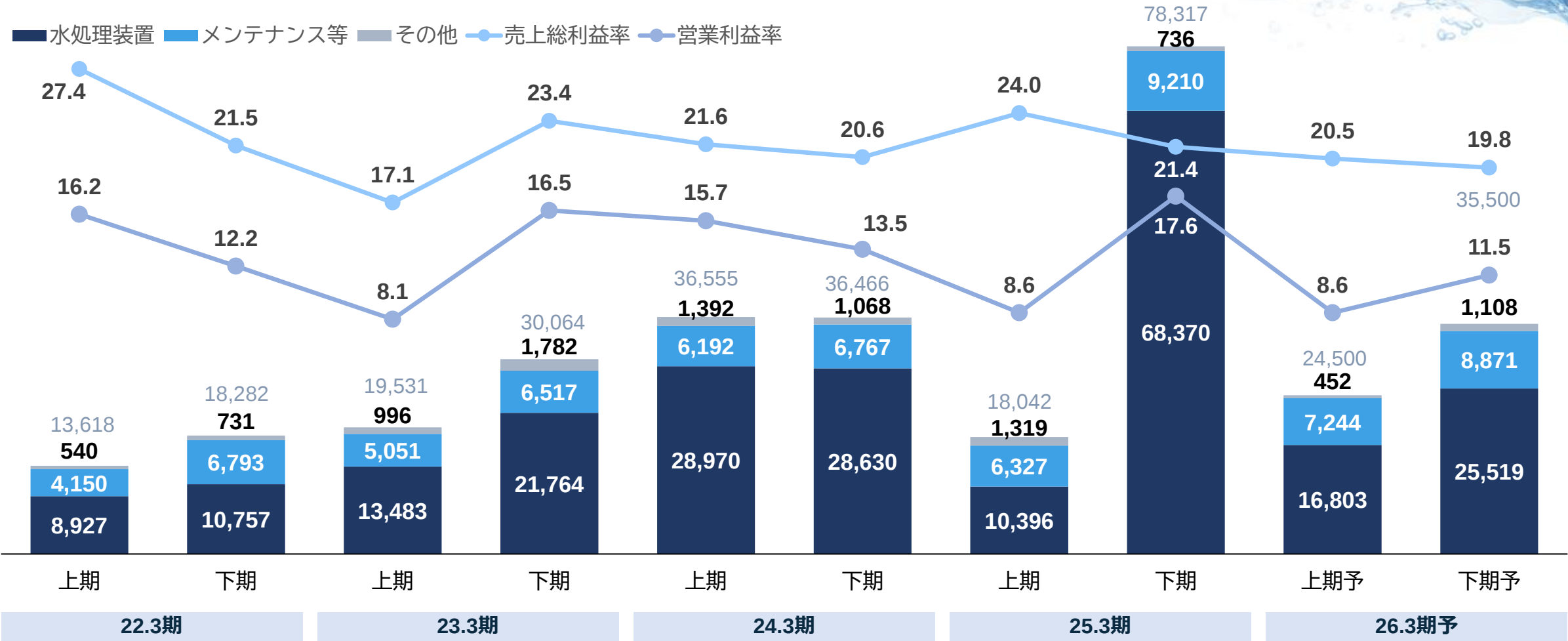


大型水処理装置案件売上の端境期により減益となるものの、経費削減活動等により減益幅の縮小に努める



業績推移（半期毎） 売上高・利益率

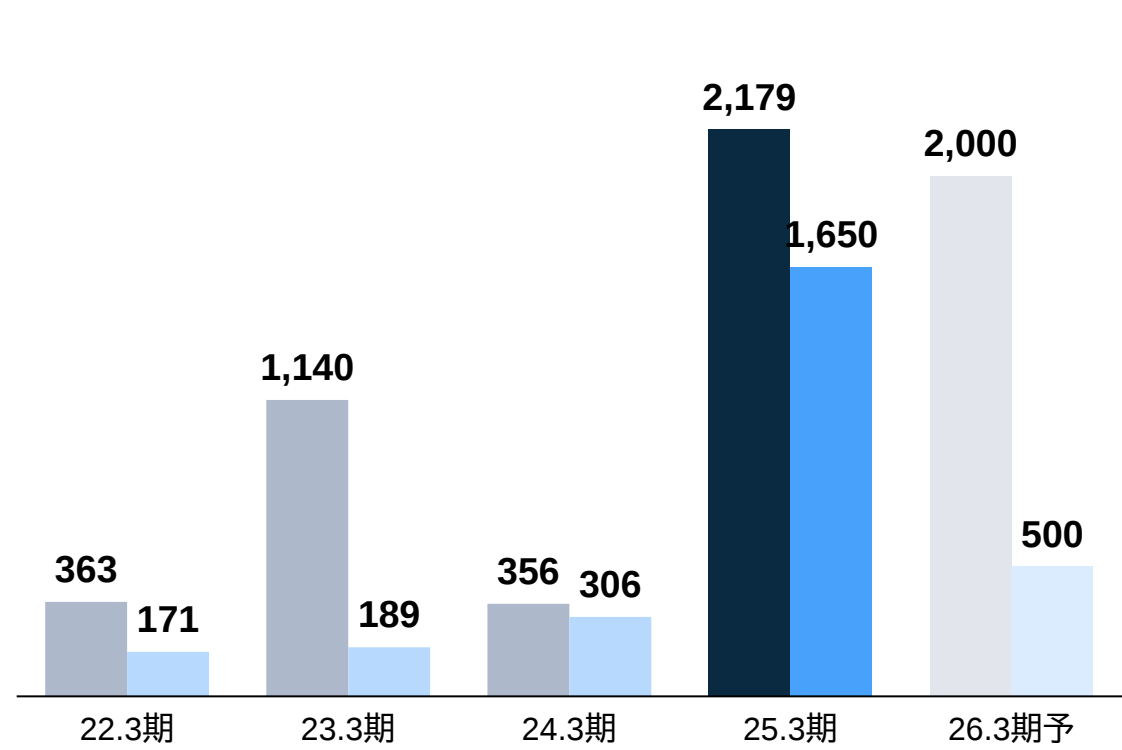
半導体、製薬ともに引き合い状況は堅調
 戦略的な新規顧客の受注獲得等により、売上総利益率は低下見込
 減収により営業利益率低下を想定



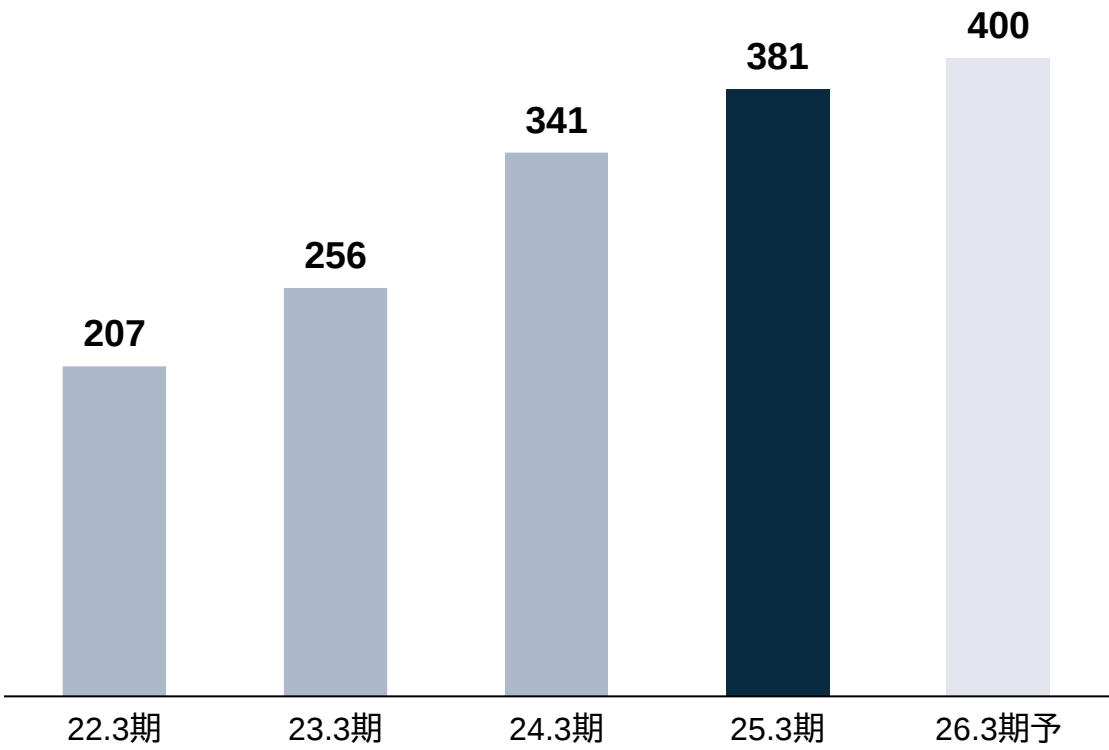
25.3期はBOOM受注により設備投資額、減価償却額が増加
26.3期は開発新棟への投資を予定

設備投資額・減価償却費（百万円）

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



研究開発費（百万円）



chapter
03

中期経営計画概要と進捗

TTT-26 Together Toward Transformation-26

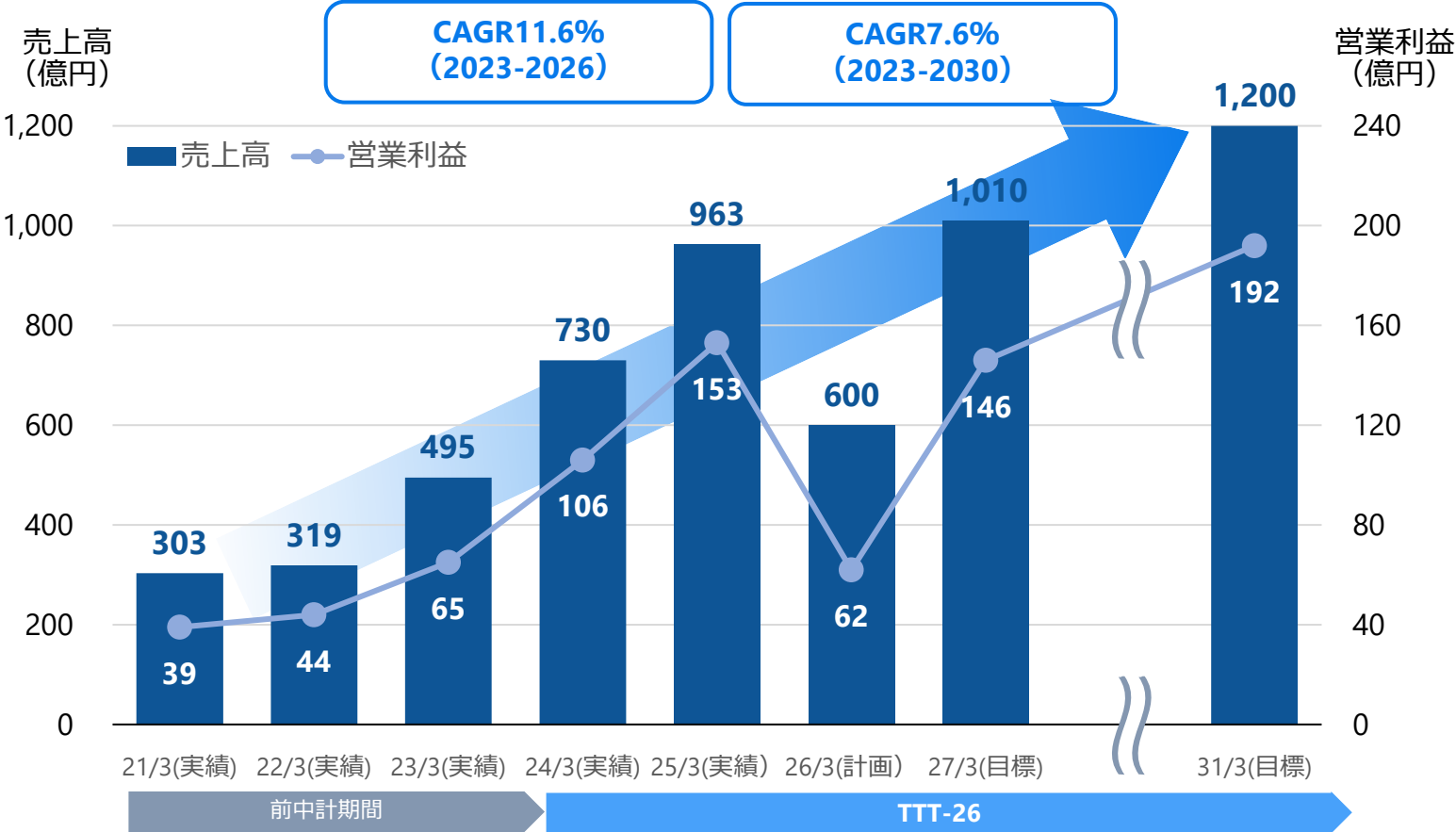
Creating the Future through Ultra-Pure Water Technology

～超純水技術で未来を創造する～

中期経営計画TTT-26 ハイライト



	売上高	営業利益	ROE	ROIC
2027年3月期	1,010億円	146億円	25%以上	22%以上
2031年3月期	1,200億円	192億円	30%以上	25%以上



概要

【経営ビジョン】

- ✓ アジアを中心とした半導体・製薬工場向け超純水装置の卓越した会社を目指す
- ✓ 高度な技術とサービスを顧客に提供し、ベストパートナーとして共に経済的価値と同時に社会的価値を創造するサステナビリティ経営を実行する会社を目指す

【企業価値の拡大】

- ①収益性の向上
- ②資本効率化
- ③財務最適化 株主還元
- ④社会的価値創出

に取組み「企業価値の拡大」を実現する

中期経営計画 企業価値向上に向けた現状分析

ROEと株主資本コスト



PBR



現状評価

- ✓ 当社の株主資本コスト（CAPMにより推計）は12~13%程度と認識
- ✓ 一方、当社のROEは5期連続20%以上で推移しており、株主資本コストを上回る水準にて推移
- ✓ 中期経営計画目標である25%以上を超過しているが、規模の拡大を目指しつつさらなるエクイティスプレッドの拡大に努めていく
- ✓ PBRについては20/3期まで1倍割れであったが、増収増益等の業績を背景に21/3期より1倍を超える水準を維持

※資本コスト（CAPM）＝①＋②×③

①リスクフリーレート10年国債利回り：0.95%前後

②β値：1.9前後

③マーケットリスクプレミアム：6.0%前後

中期経営計画 企業価値向上へ向けた今後の方針及び取組み

方針

- ✓ 経営ビジョンの達成と企業基盤強化と位置付ける中期経営計画の目標達成を目指す
- ✓ 株主資本コストを上回るROEの安定的確保を実現し、更なる高みを目指す

中期経営計画	2025年3月期	中期計画 2027年3月期	長期計画 2029年3月期
売上高	963億円	1,010億円	1,200億円
営業利益率	16.0%	14.5%	16.0%
ROE	31.4%	25%以上	30%以上
ROIC	17.9%	22%以上	25%以上

取組み

- ✓ 成長戦略の実現性・再現性を高めるためにも、中期経営計画で推進する各施策を着実に実行してまいります
- ✓ 譲渡制限付き株式報酬やストックオプション制度を導入し、一般社員を含め企業価値向上への参画意識を高めてまいります
- ✓ ROE向上につながる施策を意識した年度計画の策定を社内各部署にて徹底し、実行してまいります
- ✓ 市場評価の改善に向けて決算説明会資料等IR資料を充実させるとともに、投資家との対話で得られた意見について取締役会で定期的に報告し、施策の見直しに反映させてまいります

取組み

- 主要ドメイン変更なし：半導体・製薬分野へ注力
- 半導体生産拠点の世界各地への分散に対応
- 既存取引先との関係強化及び新規顧客開拓
- 製薬分野の海外への展開

進捗状況

- シンガポール現地法人事業開始
- インド（TATA）案件の受注：インド初の半導体製造前工程装置受注
- 国内製薬基盤強化として北陸出張所を設置
- 今後も国内外拠点展開を検討していく



エンジニアリングプロセスの改革

取組み

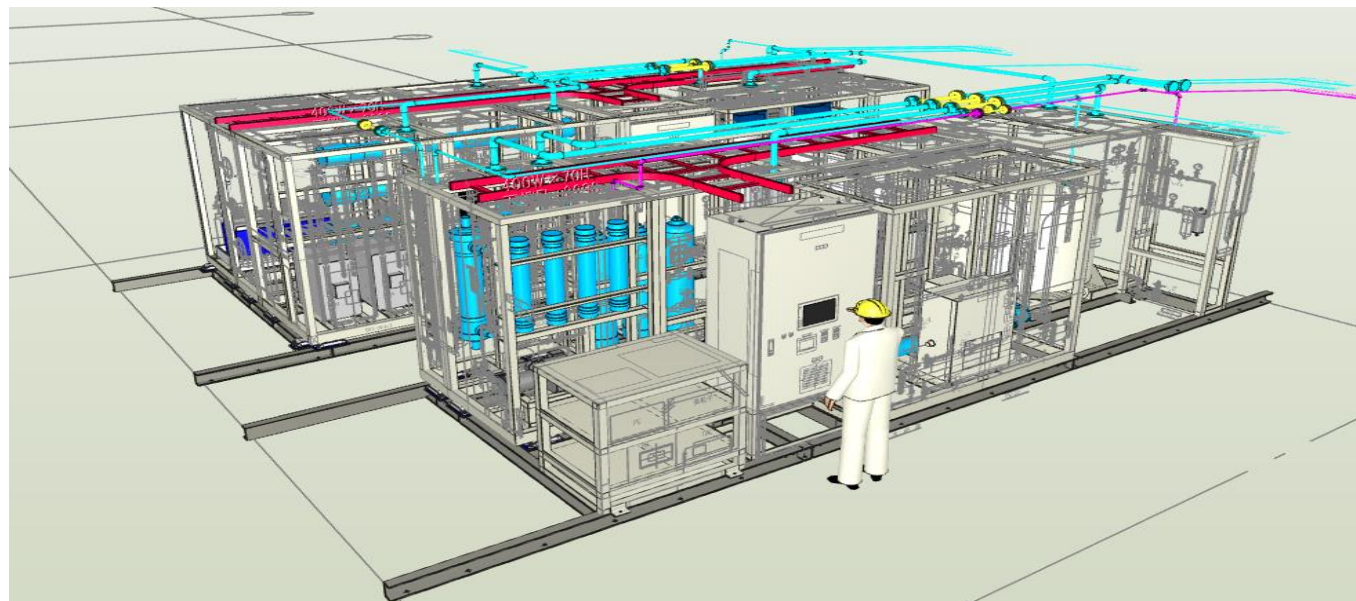
- 業務細分化・分業化による設計効率化
- プレファブ配管化、スキッド化による工事効率化
- 人材、デジタル技術等無形資産への投資

進捗状況

- 設計標準化の拡大
- プレファブ配管化、スキッド化の更なる効率化検討開始
- 装置仕様別モジュール化等の推進
- 海外拠点での現地人材採用と新規協力会社採用開始
- 経験差を埋めるDX技術・AI技術の導入検討

▶ 装置のスキッド化、配管のプレファブ化による現地工事負担軽減のイメージ図

※右図の水色、赤色の配管も工場で加工
現地工事で設置のみ



研究開発 SMART UP3の加速

取組み

- コアコンピタンスである分析技術の強化
- 環境負荷低減装置の開発
- 「その先の超純水」の研究開発促進

進捗状況

- シングルナノ分析技術等の確立に向けた投資～**新棟建設を計画**
- 大学との共同研究を推進し、プロセスLineへ機能水導入
- 最先端半導体向け超純水中不純物のさらなる低減

SMART UP 3

SMART UP3の加速

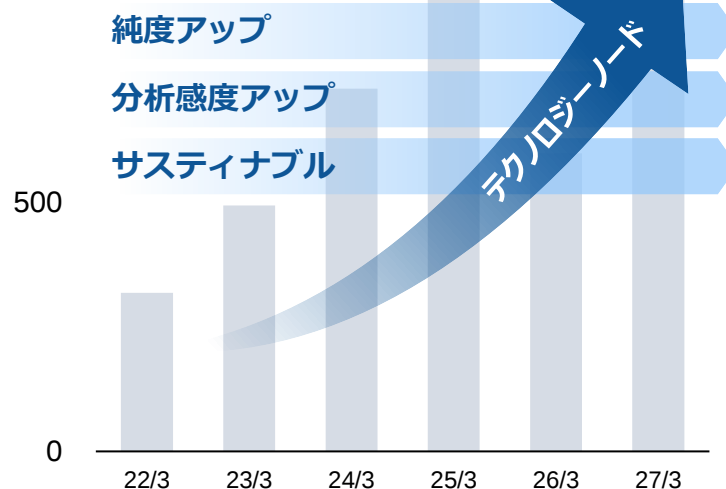
- **純度アップ**
 - ・ 装置素材の超高純度化
- **分析感度アップ**
 - ・ ppqレベルの開発に注力
- **環境貢献アップ**
 - ・ 環境負荷低減
 - ・ 省電力化
 - ・ 水使用量削減

その先の超純水へ
SMART UP3+α

- エンドトキシンモニター
- オゾン水製造装置

売上高（億円）

1,000



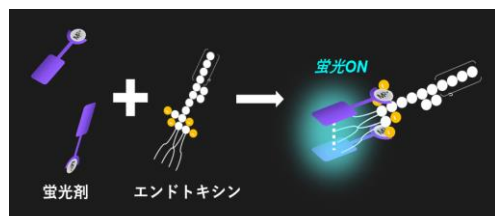
< 新棟イメージ >



細菌毒素“エンドトキシン”(*)モニターの開発

- 注射水の製造プロセス（WFI）で細菌毒素“エンドトキシン”をオンラインで検出する分析装置
- 上智大学との共同研究により“**エンドトキシン**”と**反応する蛍光性分子を開発し、蛍光剤が発する光を検出する分析装置を組み合わせる**ことで、オンラインで自動測定を可能

⇒ **高速に自動判定（約30分で判定）**



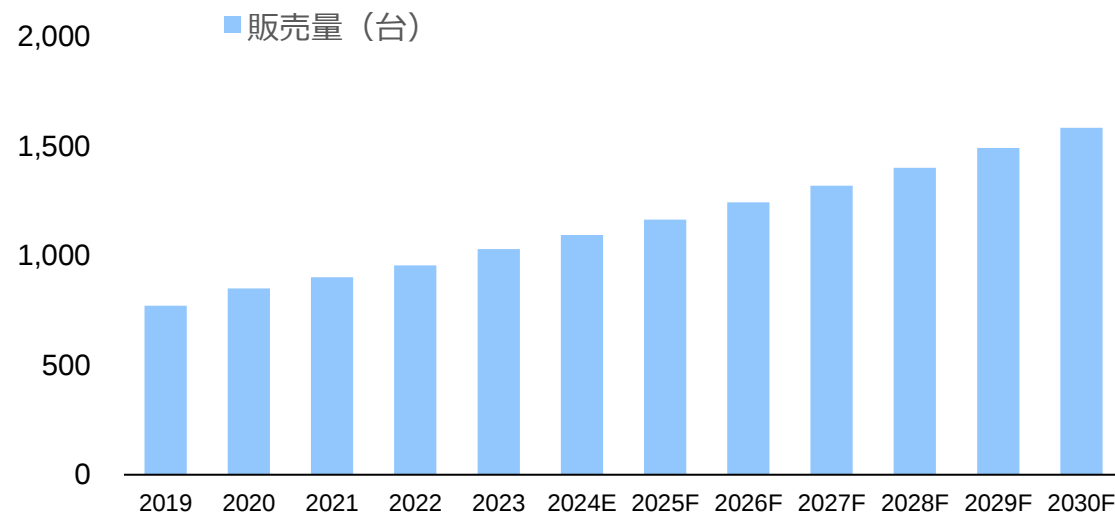
蛍光性分子



検出モニター

*エンドトキシン：大腸菌を含むグラム陰性菌由来の毒素であり、微量でも人体の血液中に混入すると発熱などをもたらす発熱性物質。非経口で人体に直接投与される注射剤や点滴剤、透析治療ではエンドトキシンの混入防止が必須となる

- WFI製造システムの販売台数は年々増加傾向
- 本開発装置により迅速なエンドトキシン管理が可能なWFI装置の販売拡大へ
- 分析装置単体での販売も視野に



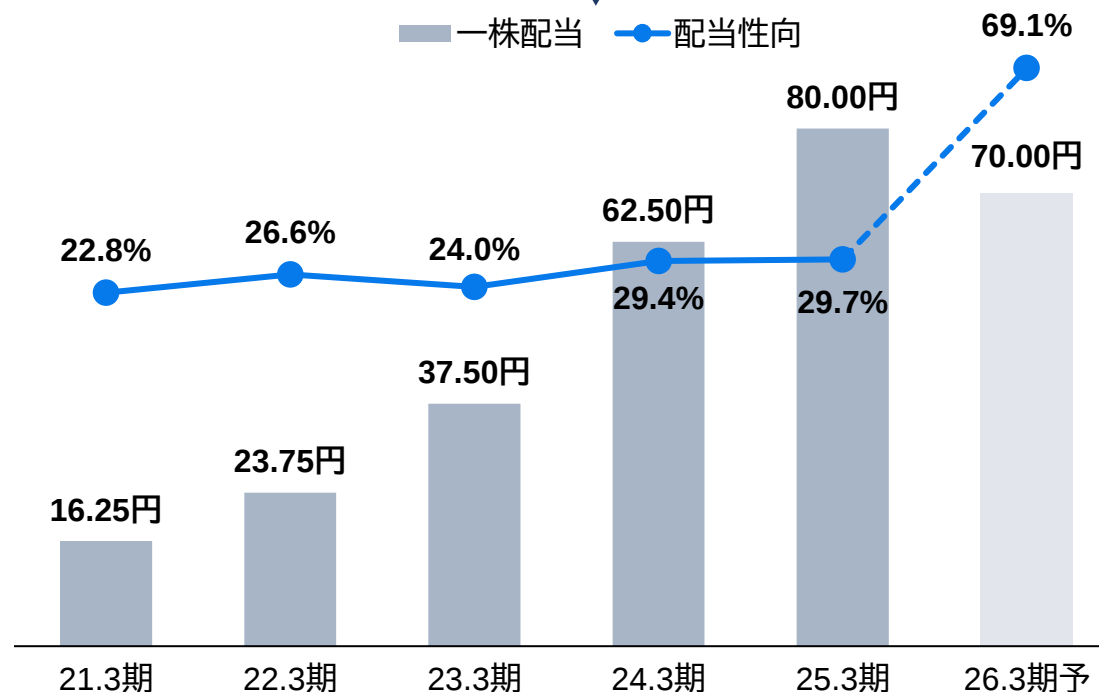
全世界での注射用水製造システムの販売台数(QY research 「注射用水装置（WFI）市場レポート グローバル市場シェア・ランキング」より引用)

株主還元方針

継続的な企業価値拡大とともに安定した株主還元を継続

- 2016.3期より**10期連続増配**
- 今後も高い成長が予想される半導体・電子部品及び製薬分野を中心に増収増益を目指し、企業価値拡大を目指す
- 健全な財務基盤を維持しつつ、配当性向30%を目標にバランスの取れたキャッシュアロケーションを実践

一株配当及び配当性向の推移



*2024年4月1日付で株式分割を実施しております（1：4）。

*過年度の一株当たり配当金は比較のため分割後の数値にて試算しております。

A dynamic splash of water with numerous bubbles and droplets, rendered in shades of blue, occupies the bottom-left corner of the slide.

chapter
04

参考資料

地域別・事業別・受注高・売上高（四半期）



(百万円)

		22.3期				23.3期				24.3期				25.3期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
地域別受注高	日本	2,959	1,842	3,032	3,310	2,874	1,652	3,219	5,553	1,648	2,202	16,532	15,267	2,668	2,516	1,947	8,140
	韓国	5,483	681	1,195	5,760	6,173	978	1,988	5,400	1,026	1,273	1,004	536	644	547	1,180	7,348
	中国	1,459	1,872	3,281	4,583	6,991	2,763	450	330	3,220	2,381	1,698	1,334	3,778	1,141	1,270	1,279
	台湾	2,957	396	1,644	803	570	4,367	596	371	689	328	292	272	347	576	537	340
	米国	33	3	148	34	21,488	2,344	84	-678	-15	1,579	16,742	2,298	119	565	-323	53,116
	その他	0	11	0	18	6	8,655	202	173	14	678	39	206	30	37	46	6,671
	合計	12,893	4,809	9,303	14,510	38,104	20,761	6,541	11,150	6,583	8,444	36,309	19,916	7,589	5,385	4,659	76,897
事業別受注高	水処理装置事業	12,721	4,440	8,899	14,183	37,603	20,265	5,999	9,909	5,741	7,892	35,732	19,425	6,939	4,716	4,147	76,673
	水処理装置	10,614	2,396	5,664	10,629	35,548	17,269	2,789	6,602	3,106	4,335	32,751	15,638	4,393	934	-10	71,621
	メンテナンス等	2,106	2,044	3,235	3,554	2,055	2,996	3,210	3,307	2,635	3,557	2,980	3,787	2,545	3,782	4,158	5,051
	その他の事業	171	368	404	326	500	496	541	1,241	841	551	577	491	650	668	512	224
	合計	12,893	4,809	9,303	14,510	38,104	20,761	6,541	11,150	6,583	8,444	36,309	19,916	7,589	5,385	4,659	76,897
地域別売上高	日本	2,637	2,404	2,178	3,083	2,244	2,636	2,877	4,117	2,404	3,359	3,012	4,261	3,290	5,183	7,812	8,926
	韓国	1,220	2,951	3,272	3,155	2,987	2,837	4,143	3,838	1,751	2,230	2,449	1,242	1,323	555	1,057	867
	中国	876	1,141	2,009	1,490	2,443	3,443	3,877	1,406	2,866	2,507	1,627	1,652	1,347	2,863	3,170	3,323
	台湾	1,060	1,278	1,322	1,568	1,255	1,606	1,072	1,109	923	1,170	859	974	439	561	724	725
	米国	33	3	148	34	0	54	84	5,425	4,294	13,254	15,594	548	966	614	735	50,008
	その他	0	11	0	18	6	15	1,448	662	527	1,265	1,198	3,045	262	634	311	653
	合計	5,827	7,791	8,931	9,350	8,937	10,594	13,504	16,560	12,767	23,787	24,742	11,723	7,629	10,413	13,812	64,504
事業別売上高	水処理装置事業	5,655	7,422	8,527	9,023	8,436	10,098	12,962	15,319	11,926	23,236	24,166	11,232	6,978	9,744	13,300	64,280
	水処理装置	3,548	5,378	5,292	5,465	6,381	7,101	9,752	12,011	9,291	19,679	21,184	7,445	4,433	5,962	9,142	59,228
	メンテナンス等	2,106	2,044	3,235	3,558	2,055	2,996	3,210	3,307	2,635	3,557	2,980	3,787	2,545	3,782	4,158	5,051
	その他の事業	171	368	404	326	500	496	541	1,241	841	551	577	491	650	668	512	224
	合計	5,827	7,791	8,931	9,350	8,937	10,594	13,504	16,560	12,767	23,787	24,742	11,723	7,629	10,413	13,812	64,504

- 本資料には野村マイクロ・サイエンス株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。
その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

野村マイクロ・サイエンス株式会社

総務部

TEL 046-228-5195

URL <https://www.nomura-nms.co.jp>